

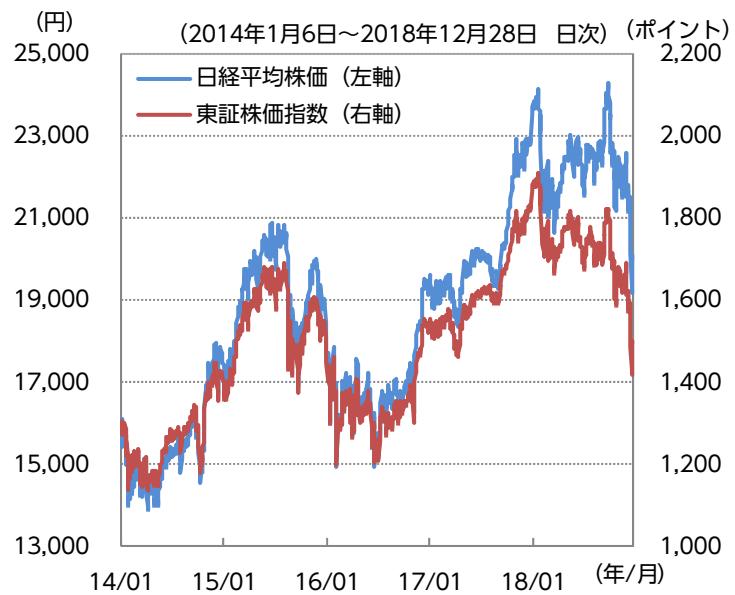
週間市場レポート

(2018年12月24日～12月28日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

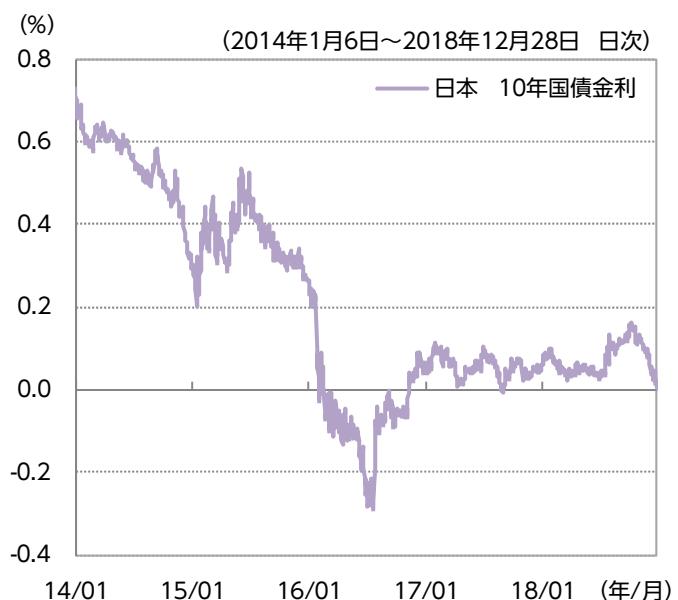
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に下落となりました。前週末から5日続落となり、週初は一時19,000円を割り込みました。その後は、短期間で大幅に下落したため、自律反発を見込んだ買いが優勢となり2日続伸したものの、週末は米中貿易摩擦の激化懸念などから前日比で下落となりました。（週末引け値：20,014.77円）
- 週間では、日経平均株価は0.75%の下落、東証株価指数は0.40%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました（価格は上昇）。日経平均株価の動向を受け、週を通じて金利は低位で安定する展開となりました。（週末引け値：0.003%）。
- 週間では、0.044%の低下となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

※ (2) 米国の株式市場と (3) 外国為替市場については、2018年12月24日（月）～2019年1月3日（木）の動向について記載しています。

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 昨日の米国株式市場（N Yダウ）は、前々週末比で上昇となりました。トランプ大統領がパウエル米連邦準備制度理事会（F R B）議長の解任を議論したとの報道などを受け大きく下落しました。年末商戦が好調であり、小売り株を中心に大きく値を戻す場面もあったものの、昨日はアップルが前四半期の売上見通しを下方修正したことを受け、前日比で下落しました。
(1月3日（木）引け値：22,686.22ドル)

※2018年12月21日（金）

- 前々週末比ではNYダウは1.07%の上昇となりました。

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 昨日の米ドル/円相場は、前々週末比で円高米ドル安となりました。根強い米国経済の先行き不透明感や日米金利差縮小を背景に、投資家のリスク回避目的の円買い米ドル売りが優勢となりました。（1月3日（木）引け値：107円65銭～75銭）

- 前々週末比では米ドル/円は3.18%の円高、ユーロ/円は3.01%の円高となりました。

※2018年12月21日（金）



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

次号は1月15日（火）発行となります。



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧説するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506 (受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>